

## 5

## あか牛について学ぼう！（肥育牛の見学）

実施校：坂梨小学校（阿蘇市）4年生

※H22年度モデル校プログラムより

## ■実施概要

坂梨小学校の5年生は、これまで草原に放牧されているあか牛とのふれあい体験学習や、阿蘇地域を代表する牛の品種「あか牛」のルーツなどについて学んできました。

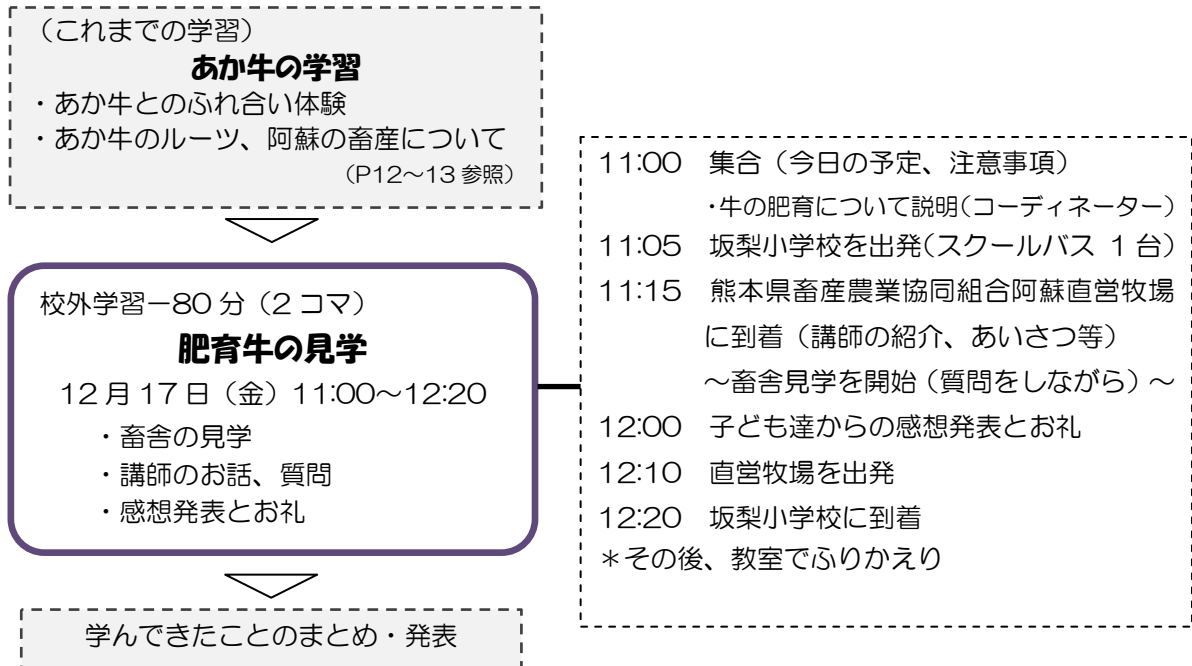
この活動では、牛の肥育の様子を見学し、草原にくらす母牛から生まれた子牛を肉牛として肥育するという、阿蘇の畜産の流について学びました。

また、現場の方から牛を飼育する上での工夫やご苦労などのお話を聞き、畜産の仕事について学びました。

## ■学習のねらい

- ・肥育は、何のためにどのように行うのかを知る。
- ・阿蘇の畜産について、地域との関わりや外国（海外の飼料）との関わりなどを知る。
- ・肥育に関わる現場の方の工夫や苦労について知る。

## ■学習の流れ



&lt;実施日&gt;平成22年12月17日(金)

&lt;実施時間&gt;11:00~12:20 (2コマ)

&lt;参加者&gt;4年生 (17人)、担任教諭

<実施場所> 熊本県畜産農業協同組合  
阿蘇直営牧場<講師> 熊本県畜産農業協同組合 阿蘇  
直営牧場 杉谷隆徳氏

&lt;準備するもの&gt;

(子どもたち)

クリップボード、筆記用具

(学校) ワークシート、救急箱

(コーディネーター) 説明用ポスター

&lt;コーディネーター&gt;

環境省 阿蘇自然環境事務所

## ■実施の様子

### ◇牛の肥育について説明

- ・出発前にコーディネーターより、子牛が生まれ、市場で売り、その牛を肥育して食卓に上るまでの流れについて、説明用ポスターを使って説明。

### ◇肥育をしている畜舎の見学

- ・あか牛や黒牛などがある畜舎内の見学。エサ（地元のワラ、外国産の干草や濃厚飼料）のことや牛の体重や性格、育てる上で気をつけていることなど、杉谷氏に質問をしながら畜舎内を見て回りました。
- ・特別に許可をいただき、牛に触れることもできました。

### ◇感想とお礼

- ・杉谷さんから牛を育てる上での思いなどをお話いただき、子どもたちからは、見学の感想や疑問に思ったことなどを発表し、お礼の気持ちを伝えました。

#### ☆杉谷さんより

- ・あか牛が増えてくれることが一番の願い。
- ・あか牛と黒牛を両方飼ってみて、あか牛の方がおとなしくて病気になりやすく育てやすい。農家の皆さんにもあか牛の良さを見直してもらとうれしい。

#### ☆子どもたちの感想より

- ・あか牛は黒牛よりおとなしいし、育てやすいのでいいと思った。
- ・肥育牛になるのは悲しいけど、そういう牛がいるから自分たちが生きているんだな、と感じた。
- ・黒牛も、ちょっとおとなしいと思った。
- ・牛の性格は荒いと思っていたけど、おとなしかった。
- ・畜舎に入ると牛が近づいてきて、かわいいと思った。

## ■成果など

- ・子どもたちからの様々な質問にわかりやすく答えていただいたので、牛や肥育についてしっかりと学ぶことができた。
- ・肥育牛については子どもたちから「かわいそう」という反応が強く出る可能性も考えられたが、事前学習をしていたこともあり、繁殖牛と違って太らせるように育てられ、やがて殺され食べられるその運命に対して、大きな抵抗感はみられなかった。
- ・杉谷さんの「あか牛は飼いやすい。飼う人が増えるといい。」というお話を通して、杉谷さんのあか牛への思いが子どもたちに伝わったことが感じられた。

#### \*留意点\*

- ・口蹄疫の発生以降、肥育牛の見学は難しくなっています。受入側とよく調整をして、可能な範囲で活動を行うようにしましょう。
- ・畜舎内では講師の方の指導に従い行動しましょう。

